

令和元年度養殖衛生管理技術者養成 選択コース研修（専門）開催要領

1. 目的

地方公共団体等が推薦する者又は、養殖業関係団体等が推薦する者等で、養殖衛生管理や魚類防疫対策に協力する者や、可能性がある者に対して、必要な知識、技術の講義を実施することによって、魚病診断や防疫の基本的な知識等を有する技術者の養成および層の拡大を図ることを目的とする。

2. 開催日時・場所

令和元年11月26日（火）13：00～12月4日（水）17：15

公益社団法人 日本水産資源保護協会 研修室

（〒104-0044 東京都中央区明石町 1-1 東和明石ビル 3F）

3. 科目・講師および時間割

別表のとおり

4. 受講資格

- 1) 地方公共団体の獣医畜産部局の職員であって、養殖衛生管理対策等に協力する可能性のある者
- 2) 地方公共団体等の職員であって、過去、公益社団法人日本水産資源保護協会または養殖衛生対策推進協議会が開催した養殖衛生管理に関する研修の修了者で、養殖衛生に関する新しい知識・技術の習得を希望する者
- 3) 養殖業関係団体等が推薦する者等であって、養殖衛生管理対策等に協力する者
- 4) 協会が上記の1)あるいは2)に該当する者と同等と認めた者

5. 受講申請

受講希望者は、受講申請書（別添様式）に所定の事項を記入し、1)、2)の場合は申請者（機関の代表者）が、3)の場合は養殖業関係団体等の推薦を受け、公益社団法人日本水産資源保護協会事務局長あて、令和元年10月18日（金）までに必着するように送付すること。

6. 受講決定通知

受講者は、受講申請書に基づき決定し、本人及び申請者あて通知する。

7. 申請上の注意

- 1) 受講希望者は、3. 科目・講師の中から希望する科目を選択する。
- 2) 受講希望者は、申請書を提出する前に希望する科目について協会の担当者と打ち合わせることをとする。

8. 教科書

各講義において、資料を配布する。

9. その他

各科目の詳細については、別冊のシラバス『養殖衛生管理技術者成研修「本科コース」講義内容』を参考のこと。シラバスは下記 URL よりダウンロードすること。

ダウンロード用ページ：<http://www.fish-jfrca.jp/05/train.html>

令和元年度養殖衛生管理技術者養成 本科専門コース研修科目および講師

科 目	時間	氏 名	所 属
魚類薬理学	6	大 嶋 雄 治	国立大学法人九州大学大学院 農学研究院
魚類飼養学	6	佐 藤 秀 一	国立大学法人東京海洋大学
魚類生理学	6	大久保 範 聡	国立大学法人東京大学大学院 農学生命科学研究科
魚類病理学	6	三 輪 理	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 増養殖研究所 魚病診断・研修センター
魚類免疫学	6	松 山 知 正	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 増養殖研究所 魚病研究センター
養殖衛生管理 問題に関する 特論・演習 (調整中)	I	4	公益社団法人 日本水産資源保護協会
	II	2	金 子 豊 二 国立大学法人東京大学大学院 農学生命科学研究科
	III	2	水 野 芳 嗣 株式会社 媛すい
合計時間数	38		

(敬称略)

【特論・演習内容】

特論・演習Ⅰ（演習）：水産防疫の取り組みに関する意見交換（課題発表と意見交換）

特論・演習Ⅰ（講義）：魚類の浸透圧調節研究とマス類養殖への実践的展開

特論・演習Ⅲ（講義）：養殖現場における魚病診断・対策

令和元年度養殖衛生管理技術者養成 本科専門コース研修時間割

時 限 月 日	1	2	3	4	5	6
	10:00～ 11:00	11:00～ 12:00	13:00～ 14:00	14:00～ 15:00	15:15～ 16:15	16:15～ 17:15
11月26日(火)			病理学		病理学	
27日(水)			病理学	特論・演習Ⅰ (演習)		
28日(木)			薬理学		薬理学	
29日(金)	薬理学		特論・演習Ⅰ (演習)		特論・演習Ⅲ	
12月2日(月)	生理学		生理学		生理学	
3日(火)	免疫学		免疫学		免疫学	
4日(水)	飼養学		飼養学		飼養学	

(敬称略)

※選択コース研修(専門)は専門コース科目を選択して受講する